

令和5年度（2023年度）

金沢大学法科大学院

入学試験問題

民 法

C 日程入試

（注意）

1. 問題冊子（表紙を含む）は2枚です。
2. 問題冊子は指示があるまで開かないで下さい。
3. 問題冊子と下書き用紙は持ち帰って下さい。
4. 解答は、鉛筆、シャープペンシル、ペン、ボールペンのいずれで記入しても構いません。
5. 解答にあたっては、どの問題から解答しても構いません。ただし、どの問題についての解答であるのかを答案中に明示してください。

## 令和5年度（2023年度）金沢大学法科大学院入学試験問題

試験科目	民	法
------	---	---

以下の問題について解答しなさい。

### 問題1（10点）

以下の事項について、違いが明確になるように簡潔に説明しなさい。

- ・条件と期限

### 問題2（15点）

次の事例を読み、[問い]に答えなさい。

Aが死亡した。Aは多数の賃貸用不動産を所有していた。Aには、法定相続人として、妻X、子Y、子Bがいた。Aの遺産分割について紛争が生じたので、しばらく遺産分割がなされない状態が続いた。また、相続開始後に賃貸用不動産から生じた賃料債権の帰属にも争いがあったので、X、Y、Bは、以下のとおり合意し、その通り行われてきた。

- ① 遺産から生ずる賃料を管理するためだけに、YがY名義で銀行口座 $\alpha$ を開設する
- ② 遺産から生ずる賃料は借入人が $\alpha$ に振り込んで支払う
- ③ 不動産管理に必要な費用は、 $\alpha$ から支出する

その後、遺産分割協議により賃貸用不動産のすべてを相続したXは、 $\alpha$ にある金銭はすべてXに帰属するとして、Yに支払いを求めた。

[問い]

XのYに対する請求が認められるかについて、判例を踏まえて検討しなさい。